



共同記者会見・公開燃焼実験のご案内

2008年1月9日
報道機関各位

燃焼実験で1200 超を測定 / 農業、ボイラー用等で実用化へ 原油高騰時代に環境型クリーン新エネルギー開発 窒素酸化物、二酸化炭素発生を抑制する新エマルジョン燃料 1月16日、東京・江東区新木場でマスコミ向け公開燃焼実験

石油、石炭、ガスなど化石燃料の代替燃料の研究開発に取り組んでいる深井環境総合研究所株式会社（本社：長野県上田市秋和、代表：深井利春）は、化学物質の合成乳化剤や界面活性剤を一切、必要としない、環境にやさしいエマルジョン燃料を開発しました。

ブッシュ・米国大統領も2007年12月19日、新エネルギー法案に署名、代替燃料の開発などで石油への依存度を減らし、地球温暖化防止に取り組む姿勢を明確に打ち出しました。

エマルジョン燃料とは、燃料油（灯油、軽油、重油、廃油など）と水を攪拌して乳化させた液体燃料のことです。酸性雨、光化学スモッグなど原因の窒素酸化物（ NO_x ）や粒子状物質（PM）の発生を抑え、環境負荷を低減させる効果があるとされます。現在、大学や自動車、造船など大手メーカーなどで開発が進められ、環境にやさしい燃料として注目されています。

今回、開発したエマルジョン燃料は、当社が開発した、油を燃焼させる水「エネルギー転換機能水」と燃料油をそれぞれ50%ずつ混合しました。当社の燃焼実験（写真下）では、燃料油100%の燃焼とほぼ同等レベルの熱量（カロリー）を測定、水から熱量（カロリー）を検出することに成功しました。また二酸化炭素（ CO_2 ）など温室効果ガスについては、最大69%削減（A重油の場合）することに成功しました。

今後、実用化に向けさらに実験を重ね、農業、ボイラー、工業機器、船舶、自動車などの分野で使用可能な代替燃料として想定し、世界が直面しているエネルギー問題、環境問題に対応していきます。つきましては、当社開発のエネルギー転換機能水と新エマルジョン燃料の公開燃焼実験をマスコミ記者の皆様の眼前で実施、ご理解頂きたく、ご多忙の折とは存じますが、ぜひご参加頂きますようご案内申し上げます。

日時：2008年1月16日（水） 13:30～15:00（受付13:00）

場所：studio coast（東京都江東区新木場2-2-10）電話03-5534-2525

JR京葉線、東京メトロ、りんかい線「新木場駅」下車、徒歩5分

【共同記者会見・公開燃焼実験内容】

【第一部】 深井利春（深井環境総合研究所代表取締役）

- ・エネルギー転換機能水を使った新エマルジョン燃料
- ・乳化剤、界面活性剤が一切、不要！
- ・他のエマルジョン燃料との決定的な相違点
- ・今後の事業展開、市場規模など

廣瀬鉄之介（エネルギー・環境ジャーリスト、元産経新聞経済部編集委員）

- ・化石燃料の代替燃料開発の現状
- ・エマルジョン燃料開発の現状

映像＝「燃焼実験風景、韓国での共同記者会見」上映とメカニズム解説

【第二部】 バーナー5機を使ったエマルジョン燃料の公開燃焼実験と攪拌機実験（屋外で実施）

山崎和雄（科学技術評論家）・科学技術評論家が見た「燃焼実験」の評価、感想・温暖化防止とエマルジョン燃料



【会社概要】

会社名：深井環境総合研究所株式会社
 所在地：長野県上田市秋和195-3
 TEL 0268-27-3750/FAX 0268-27-3740
 設立：2007年7月13日
 代表者：深井 利春
 資本金：500万円
 社員数：10名
 事業内容：エマルジョン燃料・生成機研究開発、
 界面活性力、乳化力・乳化物・水質な
 どの実験・研究・開発及び活水器の開
 発製造 他
 URL:<http://www.fukaisoken.jp/>

【深井利春社長の略歴】

1947年 長野県上田市生まれ。
 水の界面活性力の研究に着手、
 洗剤・溶剤を一切使わない
 「創生水」「創生クリーニング
 システム」を開発。
 その後、新クリーニング溶剤の
 開発、実験に着手。
 2007年7月、深井環境総合研究
 所株式会社設立。
 燃料油50%に対して、水50%のエマルジョン
 燃料の開発、燃焼実験に成功。



環境NGO「CWVI」代表 / 創生ワールド株式会社・
 代表取締役社長 / 社団法人臨床医学情報協会理事
 / 東京福祉大学社会福祉学部非常勤講師など。



京葉線「東京メトロ口、りんかい線「新木場駅」
 下車、徒歩5分。千石橋を渡りすぐ左手にある。
 地図は記者会見直前に改めてFAXします。
駐車場がありませんので、ご注意ください

参加申込表 FAX 03-3572-0482 締切：1月14日(月)

貴社名		TEL	
御氏名		FAX	
媒体名		E-mail	
出席		欠席だが、資料がほしい	

【お問い合わせ】

深井環境総合研究所(株) / 深井利春、深井正利
 電話 0268-27-3750